

たかはま
だからこそできる
すてきな
まちづくり

まず始めてみるのが大切！

現在、市内企業に勤めながら消防団第4分団の分団長である鈴木功さん(二池町)に、勤務先の企業が行っている地域貢献、消防団活動での体験や想いなどについてお話を伺いました。

消防団活動は

仕事へのプラスにもなる

消防団活動を行っている一番思うことは、いままで知らなかった人とつながることができるということだと思います。営業先で出会った人が消防団員であった、なんてことはよくあり、そこから話が進むこともあります。地域のためにも思い活動していま

◀消防団活動の様子



鈴木 功さん(二池町)

すが、自分の仕事にもプラスになっているんです。

子どもたちに

思いを伝えたい…

勤めている高浜電工(株)では社員が市内の小学校に出向いて環境授業を行う取組みをしています。子どもたちは普段とは違う体験授業に興味深々のようです。「自分たちはこんなことをやっているんだよ」と企業が積極的に説明していくことは、地域住民に対する認知度を広げるチャンスです。負担があるかもしれない

けど、きっと自分たちに成果が返ってくる、そう思い活動をしています。

挑戦から何かが始まる…

上司からはいつも「殻を破れ」と言われています。私自身、仕事・消防団でもまずは挑戦してみることを一番に考えています。私も消防団に入るときは悩みましたが、いま思うと入団したからこそこんなにアクティブに活動できていると思っています。

若い方には難しく考えず、ぜひ消防団に入団して新たなつながりをつくっていただきたいと思いますね。

企業の「地域貢献」がアシタのたかはまを支えています

高浜市でも多くの方が働いていますが、市外在住者からは「第2のふるさと」としてたかはまに愛着を持っているとの声も聞かれます。

また、11月20日(日)の市民一斉清掃にも多くの地元事業者に参加していただく予定です。



①



②



③

- ①②社員による環境授業のようす。
たかはまの未来を担う子どもたちに対して地元企業ならではの授業を展開
- ③ 高浜市のキャッチフレーズを社用車に掲載してPR



問合せ先 総合政策グループ ☎ 52-1111 (内線339)